

# 声優さんがやってきた！ 怖いオニギリンは本当はやさしい人

とき 平成30年6月26日(火) ところ 新潟県 長岡市立深沢小学校

上演作品 『やさしいところ』『へっこきよめ』『さらやしきのおきく』

プロの声優さんが、紙芝居を読んでくれる紙芝居上演会。これまでは、災害被災地域で実施してきましたが、今年初めて新潟県で開催しました。

紙芝居の朗読をしてくれたのは、「ちびまる子ちゃん」の「ブー太郎」の声でおなじみの永澤菜教ながさわ なおさんです。

**実** 施日は学校公開日で、まだ6月というのうだるような暑さでした。急ぎよ、会場をクーラーの効く図書室に変更。全校児童42名と、参観にいらした地域の皆さんが一堂に会し、上演会が始まりました。

憧れの声優さんを目の間に、子どもたちはどきどきワクワク。地元のテレビ局や新聞社が取材にきていたこともあって、さらに緊張の面持ち。

ところが、永澤さんの「ブー太郎」の声での自己紹介に、



子どもたちは紙芝居にきぎつけ！

ぐっと空気が変わります。作品の朗読が始まると、子どもたちはもう夢中。紙芝居の世界に入り込んでいきました。



オリジナル紙芝居『やさしいところ』の上演

**上** 演作品のひとつ、『やさしいところ』は運動本部のオリジナル紙芝居。ふだんは怖い近所のおじさん、通称オニギリンは、実は子どもたちのことを大切に思っているというお話です。

朗読が終わって、永澤さんが、「みんなの周りにも、オニギリンみたいな人がいるかな？」と聞くと、子どもたちは友達と顔を見合わせ「…………」。一方、大人たちは思わず苦笑い。きっと、本当はオニギリンがいるのでしょうね。叱ってくれる大人がいる幸せは、大人になってから分かることでしょう。



みんなの周りにもいるかな？  
オニギリン

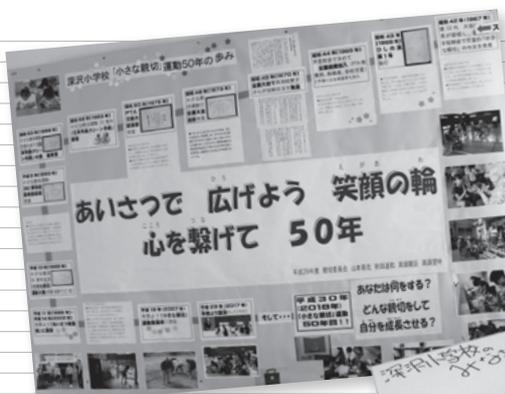
※オリジナル紙芝居『やさしいところ』の内容はWEBサイト (<http://www.kindness.jp/>) でご覧いただけます

## 深沢小学校はこんな学校

深沢小学校は運動の会員校で、なんと、今年で加入50周年！ 学校に足を踏み入れた瞬間、なんだかどこかのおうちに遊びにきたような、みんなが家族という雰囲気に包まれました。

子どもたちの祖父母の世代から、三世代に渡ってずっと心をつないできた深沢小。優しさにあふれているのも納得です。

加勢律子校長も、「子どもは地域の宝。みんなで育てていきたいですね」と話してくださいました。



廊下に掲示された50年の歩み

永澤さんからのお祝いメッセージ

